

Eclipseベース 統合開発環境 e2 studio V3.1ご使用上のお願い

統合開発環境e2 studio V3.1のご使用上の注意事項を連絡します。

- C++プロジェクトをデバッグする際の注意事項

1. 該当製品

e2 studio V3.1.0.24からV3.1.2.10まで

2. 対象マイコン

RXファミリ

3. 内容

e2 studioのデバッガ(エミュレータまたはシミュレータ)を実行中に
"RXファミリ用C/C++コンパイラパッケージ" を使用して作成した
C++プロジェクトのC++オブジェクトメンバの値を表示しようとする
と、「rx-elf-gdb.exeは動作を停止しました」のエラーが表示され、
デバッガが終了する場合があります。

4. 回避策

デバッガ上で値を表示する場合は、C++オブジェクトを直接参照せず、
下記の例のように別のポインタ変数を經由してください。

回避策の適用例:

この例ではclass MyClass のメンバ member_var1 の値をポインタ pobjを經由
して参照する場合は示します。

```
-----  
MyClass MyObject;  
    MyClass *pobj;    /* 本回避策用のポインタ変数の定義 */  
pobj = &MyObject;  
MyObject.member_var1 = 1; /* こちらではなく */
```

```
pobj->member_var1 += 0; /* こちらの値を参照してください */
```

5. 恒久対策

e2 studio V3.1.3.06で改修します。(2/5から公開予定)

詳細はRENEASAS TOOL NEWS資料番号 150201/tn2をご参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=150201tn2>

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.